



福井大学医学部医学科推薦合格
山本里奈さん（大谷高校）

私は小学生の頃からかかりつけの小児科医に憧れを抱き、漠然と医師を目指すようになりました。そして高校一年生の時に耳原病院で医師体験をさせていただき、過酷な環境で働きながらも患者のことを一番に考える医師の姿に感銘を受けました。その体験が医師を目指す決め手となりました。

私が受験勉強において気付いたポイントがいくつかあります。一つ目は基礎から固めることです。医学部はハイレベルな問題が出題されるからといって苦手科目の基礎固めをすっ飛ばすのではなく、難しい問題まで手を出せなくても基礎問題を確実に取ることが大切です。二つ目は隙間時間を無駄にしないことです。私は他の人より知識を一つでも多くするために、移動時間、入浴時間、髪の毛を乾かす間などでも勉強していました。

私は先日、幼い頃から憧れている小児科医にお会いし、「医師はなるまでも、なってからも本当にしんどいことが多い。でも、人を助けたいという思いさえしっかりもって、仲間と支え合えば大丈夫。」という言葉をいただきました。私はモチベーションが下がった時には医師体験のことを思い出して気合を入れ直していました。皆さんも医師になって、人の役に立ちたいという強い気持ちを持って受験勉強に励んでください。

